

機械設備工事特記仕様書

I. 工事概要

1 工事場所 倉吉市東蔵城町

2 建物概要

番号	建物名称	構造	階数	建築基準法による延べ面積(m ²)	消防法施行令第1条第1項の区分	備考
1	車庫棟	S造	2	757.12	(16)項口	
2					()項	
3					()項	
4					()項	
5					()項	

3 工事種目 (◎印の付いたものが対象工事種目)

工事種目	番号	1	2	3	4	5	屋外	備考
空気調和設備								
冷暖房設備								
換気設備	◎	○						
排煙設備								
自動制御設備								
衛生器具設備								
給水設備	◎					○		
排水設備	◎					○	雨水のみ	
給湯設備								
ガス設備								
浄化槽設備								
消火設備								
さく井設備								
電気設備工事								
建築工事								

4 設備概要 (本工事における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。)

項目	設 備 概 要
空気調和・冷暖房設備	● 単一ダクト方式 ● 各種ユニット方式 ● ダクト併用ファンコイルユニット方式 ● ファンコイルユニット方式 ● パッケージ方式 ● 温水暖房 ● 蒸気暖房 ● 温風暖房 (● 局所式 ● 中央式) ● 床暖房 ● 電気 ● 灯油 ● A重油 ● ガス ● バイオマス ● 鋼製ボイラー ● 鉄製ボイラー ● 真空式温水発生機 ● 無圧式温水発生機 ● チリングユニット ● スクリュー冷凍機 ● 遠心冷凍機 ● 吸収式冷凍機 ● 直置き吸収式冷水機 ● 小形吸収式冷水機ユニット ● バイオマスボイラー ● ルームエアコン ● ヒートポンプパッケージエアコン (マルチタイプ ● 有 ● 無) ● 温風暖房機 ● FFF暖房機 ● その他 ()
換気設備	● 第一種 ● 第二種 ● ◎ 第三種
排煙設備	● 機械排煙 (適用法規 ● 建築法 ● 消防法)
自動制御設備	● 電気式 ● 電子式 ● デジタル式
給水設備	給水方式 ● 水道直結方式 ◎ 高層水塔方式 ● ポンプ直送方式 ● 増圧給水方式 水源 ◎ 水道水 ● 井水
排水設備	排水方式 ● 自然流下 ● ポンプ排水 (● 汚水 ● 雑排水 ● 雨水) 放 流 先 ● 汚 水 ● 公共下水道 ● 浄化槽 ● 雑 排 水 ● 公共下水道 ● 浄化槽 ● 雨 水 ● 公共下水道 ◎ 側溝 ● 河川 浄 化 槽 処 理 方 式 ● 小規模合併 ● 合併 ● 処理水放流先 ● 排水路 ● 側溝 ● 河川
給湯設備	● 局所式 (● ガス ● 油 ● 電気) ● 中央式 (● 油 ● ガス ● 電気)
消火設備	● 屋内消火栓 ● 屋外消火栓 ● 連絡送水管 ● 連絡取水 ● スプリンクラー ● 泡消火 ● 粉末消火装置 ● 不活性ガス消火 (● 窒素 ● 窒素素 ●) ● ハロゲン化物消火
ガス設備	● 都市ガス (MJ/m ³) ● 液化石油ガス

II. 特記仕様

1 一般事項

- 現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて◎印の標準仕様等による。
◎ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(平成31年版)」(以下「標準仕様書」という。)
◎ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(平成31年版)」(以下「改修標準仕様書」という。)
◎ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(平成31年版)」(以下「標準」という。)
- 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(平成31年版)」(以下「改修標準仕様書」という。)を適用する。
- 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書等及び監理指針を適用する。

2 特記事項

- 項目は番号に◎印の付いたものを適用する。
- 特記事項のうち選択する事項は◎印の付いたものを適用する。
◎印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。◎印と※印の付いた場合は両方を適用する。
- 一般共通事項のうち(1)～(7)、(8)～(9)、(11)～(12)、(13)～(14)、(37)項は、◎建築 ● 電気設備 工事仕様書による。

項目	特記事項
1 官公署その他への手続	工事の施工に伴い必要な官公署その他への手続、検査並びにその費用は、請負者の負担とする。
2 電気保安技術者	工事現場における電気保安技術者は、鳥取県総務部営繕工事自家用電気工務物保安規程第5条に定める工事担当技術者の職務を補佐し、当該工事の工事期間中自家用電気工務物の保安の業務を行うものとする。なお、電気保安技術者の資格は標準仕様書第1編第1章第3節1.3.2によるものとし、一般用電気工務物にかかる工事についても、自家用電気工務物の場合と同様の業務を行うものとする。 引渡しを要するもの ※ 無し ● 有り () 特別管理産業廃棄物 ※ 無し ● 有り (● ダクトフランジパッキン ● アスベスト含有ボード) アスベスト含有設備資機材(ガスケット、パッキン、たわみ継手等)は関係法令に従い適切に処理を行う。 再生資源の利用を図るもの ※ 無し ● 有り (● コンクリート塊 ● アスファルトコンクリート塊) ● 建設発生木材)
3 発生材の処理等	イ) 本工事に使用する資材等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等以上の品質及び性能を有するものとする。 ロ) (一社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」による場合は評価書の写しを監督職員に提出するものとする。 J) ISマーク等のある資材を使用する場合は、標準仕様書第1編第1章第4節1.4.2(c)の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略できる。ただし、標準仕様書に規定される製作図、試験成績等は除く。 機械設備工事機材承認図様集(令和元年版)によるほか、監督職員の指示による。 提出した施工図等の著作権に係る当該建物に際する使用権は発注者に移譲するものとする。 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「工事写真撮影ガイドブック機械設備工事編 平成30年版」によるほか、監督職員の指示による。下記のものを出す。
4 機材等	
5 機材の品質・性能証明	
6 機材の承認図	
7 施工図等	
8 完成写真等	
9 完成図等	
10 技能士の適用	下記により適用する技能士は、適用する工事作業中、1名以上の者が自ら作業をするとともに他の技能士に対して施工品質の向上を図るための作業指導を行う。また、そのものが技能士であることが分かる名札(下図参考)を常時着用する。 ◎ 配管 (● 1級 ◎ 2級) ● 熱線施工 (● 1級 ● 2級) ● 冷凍空調機器施工 (● 1級 ● 2級) ● 建築板金 (● 1級 ● 2級)

《技能士名札参考図》

職種	配管
作業名	建築配管作業
級別	1級
氏名	山○夫
勤務先	○工務店
自宅	鳥取市
技能士番号	00-0-000-00-0000
発行	○○○○○○○○○

写真(30×40程度)

90 mm

技能士の職種により色を変えることも可

技能士の級別

技能士本人の住所

名札の発行元

主要事項(職種、作業名、級別、氏名、住所、技能士番号、発行元、本人写真)が記載されているレイアウトは問わない。

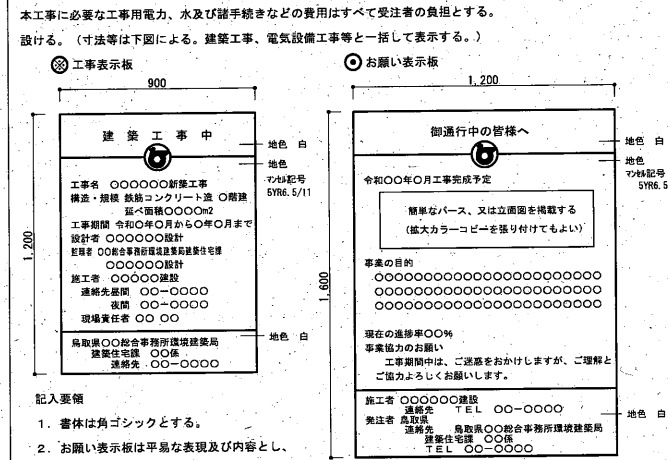
一般共通事項

11 他工事との取合

他工事との取合い	建築	電気設備	機械設備
● コンクリート床、床、装具通部	スリール・挿入	● ● ●	※
● 鉄骨造の開口及び補強	補 強	※ ● ●	●
● 照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート(くぎ埋め共)		● ● ●	●
● 軽量鉄骨製のボックス取付用下地		● ● ●	●
● 増設分電盤・端子盤・プルボックスの仮枠及び埋込部分の補強	仮 枠	● ● ●	●
● OAFフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強		※ ● ●	●
● 埋込形機器取付用の天井・壁の切込加工及び下地の補強	切 り 込 み	● ● ●	※
● 自動閉鎖装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアローザ、フロアヒンジ	補 強	※ ● ●	●
● 電気室、自家発電室などの基礎及びピット(蓋を含む)		※ ● ●	●
● 天井点検口		※ ● ●	●
● 機器類のコンクリート基礎	屋内・屋外設置	● ● ●	※
● 機器類のコンクリート基礎	屋 上 設 置	※ ● ●	●
● 機器類の制御盤及び操作盤から機器までの配線		● ● ●	※
● 機器用コントロールスイッチ(空調機、給湯器等)の取付及び配線		● ● ●	※

12 工事用水・電力・その他

13 表示板



14 工事用仮設備

15 土工

16 耐震措置

17 図形等の表示

18 電気容量及び機器表示

19 保温工事

本工事に必要な工事用水、水及び諸手続きなどの費用はすべて受注者の負担とする。
設ける。(寸法等は下図による。建築工事、電気設備工事等と一緒に表示する。)

記入要領

- 書体は角ゴシックとする。
- お願い表示板は平易な表現及び内容とし、監督職員が指示するものとする。

構内に作ることが ※ 出来る ● 出来ない

(ア) 埋め戻し土 ◎ 根切土のなかの良質土 (◎ コンクリート管以外の管の周囲は山砂の類) ● 山砂の類 () ● 真砂土 ()

(イ) 建設発生土処分 ◎ 構外に搬出 ● 構内に敷ならし ● 構内の指示する場所に堆積

【官庁施設の総合耐震計画基礎及び解説・平成8年版】(建設大臣官房官庁営繕部監修)によることとし、施工は「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(国土交通省国土技術政策総合研究所・(独)建築研究所監修)による。設計用水平地震力は、機器の荷重(kN)に、地域係数、設計用標準水平震度を乗じたものとする。図面に特記のない場合、設計用標準水平震度は次による。

設置場所	機器種別	● 特定の施設		● 一般の施設	
		● 重要機器	● 一般機器	● 重要機器	● 一般機器
屋上・塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振設置機器	2.0	2.0	2.0	1.5
中 間 階	水 槽 類	2.0	1.5	1.5	1.0
	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6
地階・1階	防振設置機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	機 器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6

重要機器 ● 防災機器 ● 火気を使用する機器 ● タンク類
注) 設計用鉛直地震力は水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

機器類は、図示する形状、配管などの取出し位置及び製造品番により、特定製造者の製品を指示、限定しない。
機器類の能力、容量等は、原則として表示された値以上とする。
電動機出力、燃料消費量等は、原則として図面に記載されている値以下とする。

● 冷温水管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム ●)
● 蒸気管 (● ロックウール ● グラスウール ●)
● 給水管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム (屋外露出) ●)
● 排水管 (● ロックウール ● グラスウール ●)
● 給湯管 (● ロックウール ● グラスウール ● 保温チューブ (厚さ◎) ●)
● 消火管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム ●)
● ダクト (● ロックウール ● グラスウール ●)
● 燃焼熱源等機械室内の配管 (● ロックウール ● グラスウール ●)
● 全熱交換機の給気ダクト (● 機器外気側 ● 機器室内側) は保温 (グラスウール25mm厚) する。
● 冷媒管の保温外装 屋内 (● 樹脂製化粧ケース ●) ● 合成樹脂製シート ●
● 屋外 (● 樹脂製化粧ケース ●) ● SUS鋼板 ●

一般 共通 事項	20 鋼管類の防食処置	<p>● ベトロタム系 ● プレブル系 ● 熱収縮テープ及びシート</p> <p>● 標準型 (施工3) ● (1)絶縁フランジ ● (2)絶縁シート</p> <p>※ 合成ゴム製 (球形) ● ポリテトラフルオロエチレン製 ● ベローズ形 (ステンレス製)</p> <p>※ ベローズ形 ● スリーブ形</p> <p>各種機材のうち、下記の部分は塗装しない。(さび止め塗装は除く。)</p> <p>(ア)埋設されるもの (ただし、防食塗装部分を除く)</p> <p>(イ)重鉛めっき以外のめっき仕上げ面</p> <p>(ウ)重鉛めっきされたもので、常時隠ぺいされる部分</p> <p>(エ)重鉛めっきされた金属電線管、鋼製架台及び支持金物類</p> <p>(オ)樹脂コーティング等を施したもので、常時隠ぺいされる部分</p> <p>(カ)カラー亜鉛鉄板面</p> <p>(キ)アルミ、ステンレス、銅、清酸アルミニウム亜鉛鉄板面、合成樹脂製等、特に塗装の必要を認められない面</p> <p>(ク)特殊な意匠的仕上げ処理を施した面</p> <p>(ケ)主・各層機械室内等及び電気室内の重鉛めっきされた露出ダクト及び露出配管</p> <p>● 上記及び標準仕様書によらず塗装を施す部分・箇所</p>	12 ファンコイルユニット	<p>※ 流量調整弁 ● 定流量弁 (● ダイアフラム式流量可変式 ● カートリッジオリフィス形) を取得する。</p> <p>(ア) 防塵ダンパー ※ 遮断機構式 ● 電気式 (動作電圧、電流はDC24V、0.7A以下とする。)</p> <p>(イ) ビストンダンパー ※ 遮断機構式 ●</p> <p>※ 低圧ダクト ● 高圧1ダクト ● 高圧2ダクト</p> <p>● 長方形ダクト ● コーナーボルト工法 (● 共板工法 ● スライドオンフランジ工法) (長辺1500mmを超えるものはアングルフランジ工法とする。)</p> <p>● アングルフランジ工法</p> <p>● 防火区画を貫通するダクトは、その貫通部分の前段150mmを1.6mm厚鋼板製とする。</p> <p>ボックス ※ 亜鉛鉄板製 ● グラスウール製</p> <p>シーリングディフューザーの接続は、標準型 (施工47) を参考とする。</p> <p>接続するダクトの施工が困難な場合はフレキシブルダクトを使用してもよい。</p> <p>機材吹出口には、(長さ+100) × 300 × 300Hの接続チャンパーを設ける。</p> <p>外壁に面するガラリにチャンパー等を設ける場合には、雨水等を自然に排出できるよう勾配をつける。</p> <p>吹出口接続チャンパー及び開示したダクト並びにチャンパー類に内貼する。</p> <p>内貼りチャンパー類の寸法は、外法寸法とする。</p> <p>吹出口接続チャンパー以外の内貼りしたチャンパーには点検口 (原則400×600) を取得する。</p> <p>形式はビトー管式 (コック付) とする。 ● 窓型式 ● 固定式</p> <p>下記の箇所、若しくは図示により取得する。</p> <p>● 冷凍機類の冷水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング</p> <p>● 冷凍機類の冷却水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング</p> <p>● ポイラー又は熱交換器の温水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング</p> <p>● 冷水水ヘッダーの各送水管 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング</p> <p>● ユニットの空気調和機の冷水水入口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング</p> <p>● メカニカル形 ● 風速センサー形</p>	⑥ 排水設備	<p>① 配管材料</p> <p>2 漏水試験機</p> <p>3 バイブシャフト内配管の保温</p> <p>4 煙試験</p> <p>(ア) 屋内汚水管 ● VP ● RF-VP ● 排水用塩ビライニング鋼管 ● 耐火二層管</p> <p>(イ) 屋外排水管 ● VP ● RF-VP ● SGP (白) ● 排水用塩ビライニング鋼管</p> <p>● 耐火二層管</p> <p>(ウ) ポンプ排水管 ● VP (水道用) ● H1VP ● 排水用塩ビライニング鋼管 (圧送排水管用兼手)</p> <p>(エ) 通気管 ● VP ● RF-VP ● SGP (白) ● 排水用塩ビライニング鋼管</p> <p>(オ) 屋外排水管 ● VP ● RF-VP ● VU (地中) ● REP-VU (地中)</p> <p>● RS-VU ● 卵形管 ● コンクリート管</p> <p>3階以上にわたる排水管立て管に漏水試験機を手 ● 取得する ● 取得しない</p> <p>※ 施工する ● 施工しない</p> <p>※ 行なわなくてもよい ● 図示の系統のみ行なう</p>																																								
	25 ステンレス鋼管の接合方法	呼び径60以下は、SAS322による拡管とする。	15 吹出口・吸込口	16 チャンパー等	⑦ 給湯設備	<p>1 配管材料</p> <p>2 弁類</p> <p>● SGP-HVA ● ステンレス鋼管 ● 架橋ポリエチレン管</p> <p>● 保温付被覆鋼管 ● 鋼管</p> <p>湯沸器、給湯機廻りの付属配管等は製造業者標準品とする。</p> <p>※ 5K ● 10K</p>																																								
	26 溶接配管の検査	<p>非破壊検査の適用 (● 放射線透過検査 ● 浸透探傷検査又は磁粉探傷検査)</p> <p>抜取率 (● 標準仕様書による ● %)</p> <p>⑧ 埋設表示</p> <p>● 地中埋設機を指示する箇所に設ける。</p> <p>● 埋設表示用テープを埋設する。(● ガス管 ● 屋外給水管 ●)</p>	19 流量・変風量ユニット	20 温度計	10 消火設備	<p>1 配管材料</p> <p>2 弁類</p> <p>3 保温</p> <p>4 屋内消火栓</p> <p>5 ガス系消火剤の種類</p> <p>6 ガス系消火の起動方式</p> <p>(ア) 一般配管 ● SGP (白) ● STPG</p> <p>(イ) 土間下配管 ● SGP-VS ● STPG-VS</p> <p>(ウ) 屋外埋設配管 ● SGP-VS ● STPG-VS</p> <p>※ 10K ● 16K</p> <p>(ア) 呼水タンク ※ 施工しない ● 施工する</p> <p>(イ) 充水タンク ※ 施工しない ● 施工する</p> <p>(ウ) 配管の保温は次による。(屋外露出箇所は種別e3・(ハ)・VIIによる)</p> <p>● 屋内消火栓用 (※ 施工しない ● 施工する) ● スプリンクラー用 (※ 施工しない ● 施工する)</p> <p>● 連結送水管 (※ 施工しない ● 施工する) ● 連結配水管 (※ 施工しない ● 施工する)</p> <p>● 広範囲型2号消火栓 ● 易操作性1号消火栓 ● 屋内消火栓 (● 1号 ● 2号)</p> <p>● 窒素 ● IG-541 ● IG-55 ● HFC-227ea ● HFC-23</p> <p>※ 手動 ● 自動手動切替式</p>																																								
	28 支持金物・固定金具	<p>ポンプ、屋外設置機器及びビット内に使用するアンカーボルト、ナットはSUS304製とする。</p> <p>屋外及びビット内の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス製または耐塩重鉛めっき仕上げとする。</p> <p>下記事項の総合調整を行い、測定結果を監督職員に提出する。</p> <p>● 温度 ● 湿度 ● 風量 ● 騒音 ● 水量 ● 浄化槽放流水質</p> <p>● 風速 ● じんあい ● 飲料水水质 (● 一般飲料水適合検査 ●)</p> <p>● その他水质等 (● 雑用水 ● 空調用流体 ●)</p>	21 冷水管の空気抜き	22 空調機用トラップ	11 ガス設備	<p>1 都市ガス設備</p> <p>2 配管材料</p> <p>3 ガスメータ</p> <p>4 バルク貯槽</p> <p>5 容器廻りの配管</p> <p>6 容器転倒防止</p> <p>7 ガス漏れ警報器</p> <p>都市ガスはガス供給事業者の供給約款による。</p> <p>(ア) 一般配管 ※ SGP (白) ● 合成樹脂被覆鋼管</p> <p>(イ) 土間下配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管</p> <p>(ウ) 屋外埋設配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管 ● ガス用ポリエチレン管</p> <p>● 継メーター ※ 借用 ● 買取 (取付け ※ 別途 ● 本工事)</p> <p>● 子メーター ※ 買取 ● 借用 (取付け ※ 本工事 ● 別途)</p> <p>● 継型 ● 模型 ● 借用 ● 買取</p> <p>● 標準型 (施工72) の ● 要領 (a) ● 要領 (b) ● 要領 (c)</p> <p>● 標準型 (施工73) の ● 要領 (a) ● 要領 (b)</p> <p>● 不要 ● 要 (※ 別途工事 ● 本工事)</p>																																								
	29 総合試運転調整	<p>建築改修標準仕様書 9章 環境配慮改修工事 1節 アスベスト含有建材の処理工事による。</p> <p>処理を行うアスベスト含有建材の仕様等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建材の内容・箇所</th> <th>仕様等</th> <th>処理を行う範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 現有施設の石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者を活用するものとする。</p> <p>※ 官公署その他への手続きは、建築改修標準仕様書ほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。</p> <p>● 洗浄設備 (洗眼、うがいの設備) 及び更衣設備等を設ける。</p> <p>● 作業場の養生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。</p> <p>工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならない補修する。</p> <p>既成のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。</p> <p>調査方法 ● 電磁誘導式 ● 放射線透過検査</p>	建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲										23 銅板製煙道	24 オイルサービスタンク	25 地下オイルタンク	<p>1 都市ガス設備</p> <p>2 配管材料</p> <p>3 ガスメータ</p> <p>4 バルク貯槽</p> <p>5 容器廻りの配管</p> <p>6 容器転倒防止</p> <p>7 ガス漏れ警報器</p> <p>都市ガスはガス供給事業者の供給約款による。</p> <p>(ア) 一般配管 ※ SGP (白) ● 合成樹脂被覆鋼管</p> <p>(イ) 土間下配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管</p> <p>(ウ) 屋外埋設配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管 ● ガス用ポリエチレン管</p> <p>● 継メーター ※ 借用 ● 買取 (取付け ※ 別途 ● 本工事)</p> <p>● 子メーター ※ 買取 ● 借用 (取付け ※ 本工事 ● 別途)</p> <p>● 継型 ● 模型 ● 借用 ● 買取</p> <p>● 標準型 (施工72) の ● 要領 (a) ● 要領 (b) ● 要領 (c)</p> <p>● 標準型 (施工73) の ● 要領 (a) ● 要領 (b)</p> <p>● 不要 ● 要 (※ 別途工事 ● 本工事)</p>																												
	建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲																																											
	30 アスベスト含有建材の処理	<p>建築改修標準仕様書 9章 環境配慮改修工事 1節 アスベスト含有建材の処理工事による。</p> <p>処理を行うアスベスト含有建材の仕様等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建材の内容・箇所</th> <th>仕様等</th> <th>処理を行う範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 現有施設の石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者を活用するものとする。</p> <p>※ 官公署その他への手続きは、建築改修標準仕様書ほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。</p> <p>● 洗浄設備 (洗眼、うがいの設備) 及び更衣設備等を設ける。</p> <p>● 作業場の養生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。</p> <p>工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならない補修する。</p> <p>既成のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。</p> <p>調査方法 ● 電磁誘導式 ● 放射線透過検査</p>	建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲										26 油面制御装置	27 フィルター等付属品	12 浄化槽設備	<p>1 処理種別及び方式</p> <p>2 型式</p> <p>3 処理能力</p> <p>4 放流水の水质</p> <p>5 排水方式</p> <p>6 埋戻し土</p> <p>7 土留め工事</p> <p>8 マンホールふた</p> <p>9 消毒薬</p> <p>● 小規模合併処理 (● 分離接触ばっ気方式 ● 嫌気床接触ばっ気方式 ● 脱窒床接触ばっ気方式 ● その他性能評価を受けた方式 ())</p> <p>● 合併処理 (● 接触ばっ気方式 ● 長時間ばっ気方式 ● 回転接触方式)</p> <p>● ユニット型 ● 現場施工型</p> <p>● 処理対象人員 ● 処理水量 m³/d</p> <p>● 流入BOD 200mg/L ● 放流水質BOD 20mg/L以下</p> <p>● T-N mg/L以下 ● T-P mg/L以下</p> <p>※ 自然流下 ● ポンプ排水</p> <p>● 砂 ● 根切土の中の良質土</p> <p>● 不要 ● 要 (図示による)</p> <p>※ 製造者標準仕様 (ロック式) ● MHA型 (ボルト式)</p> <p>3ヶ月相対分を納入する。</p>																												
建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲																																												
31 補修など	<p>既成のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。</p> <p>調査方法 ● 電磁誘導式 ● 放射線透過検査</p>	28 パッケージ空調機の能力表示	29 防振吊り及び支持金物	13 空気調和設備	<p>1 設計用温湿度条件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">外気条件</th> <th colspan="6">室内 (調整目標値)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">一般</th> <th colspan="2">()</th> <th colspan="2">()</th> </tr> <tr> <th>温度</th> <th>湿度</th> <th>温度</th> <th>湿度</th> <th>温度</th> <th>湿度</th> <th>湿度</th> </tr> <tr> <th>(DB)</th> <th>(RH)</th> <th>(DB)</th> <th>(RH)</th> <th>(DB)</th> <th>(RH)</th> <th>(RH)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏季</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>冬季</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ SGP (白) ● SGP-VA ● SGP-PA</p> <p>※ SGP (白) ● SGP-HVA ● ステンレス鋼管 (SUS304)</p> <p>● 架橋ポリエチレン管 (ファンコイル機器接続部に限る) ● ポリブレン管 (ファンコイル機器接続部に限る)</p> <p>※ SGP (白) ● ステンレス鋼管 (SUS304)</p> <p>※ SGP (黒)</p> <p>※ STPG370-Sch40 (黒) ● ステンレス鋼管 (SUS304)</p> <p>一般配管 ※ SGP (黒) ● 地中配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管</p> <p>※ 断熱材被覆鋼管</p> <p>● ステンレス鋼管 ● SGP-VA ● SGP-PB (工業用水)</p> <p>※ SGP (白) ● VP</p> <p>※ 5K ● 10K</p>	外気条件	室内 (調整目標値)						一般		()		()		温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度	湿度	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	(RH)	夏季	℃	%	℃	%	℃	%	冬季	℃	%	℃	%	℃	%
外気条件	室内 (調整目標値)																																													
	一般		()		()																																									
温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度	湿度																																								
(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	(RH)																																								
夏季	℃	%	℃	%	℃	%																																								
冬季	℃	%	℃	%	℃	%																																								
32 はつり	<p>工事的に汚染又は損傷した場合は、既成にならない補修する。</p> <p>既成のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。</p> <p>調査方法 ● 電磁誘導式 ● 放射線透過検査</p>	4 排煙設備	5 自動制御設備	14 換気設備	<p>2 冷却水管</p> <p>3 冷水・温水・冷温水管</p> <p>4 膨張・空気抜き・補給水管</p> <p>5 蒸気給気管</p> <p>6 蒸気温水管</p> <p>7 油・油用通気管</p> <p>8 冷媒管</p> <p>9 空調用給水管</p> <p>10 空調用排水管</p> <p>11 弁類</p>																																									
33 はつり工事における非破壊検査	<p>建築改修標準仕様書 9章 環境配慮改修工事 1節 アスベスト含有建材の処理工事による。</p> <p>処理を行うアスベスト含有建材の仕様等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建材の内容・箇所</th> <th>仕様等</th> <th>処理を行う範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 現有施設の石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者を活用するものとする。</p> <p>※ 官公署その他への手続きは、建築改修標準仕様書ほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。</p> <p>● 洗浄設備 (洗眼、うがいの設備) 及び更衣設備等を設ける。</p> <p>● 作業場の養生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。</p> <p>工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならない補修する。</p> <p>既成のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。</p> <p>調査方法 ● 電磁誘導式 ● 放射線透過検査</p>	建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲										6 衛生器具設備	⑦ 給水設備	<p>1 衛生器具の参考品番</p> <p>2 大便器</p> <p>3 小便器</p> <p>4 自動水栓</p> <p>5 和風便器の耐火処理</p> <p>型番変更により参考品番が変更又は廃止されている場合、参考品番の同等品以上のものとする。</p> <p>※ 節水形 ● 標準形</p> <p>● 自動洗浄 (● AC100V ● 乾電池 ● 自己発電) ● 手動洗浄 ● 洗浄水量4リットル/回以下</p> <p>電源供給方式 ● AC100V ● 乾電池 ● 自己発電</p> <p>標準型 (施工66) の (b)</p>																														
建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲																																												
34 足場	<p>足場の設置は、「手すり先行工法に関するガイドラインについて」(厚労省 基発第0424001号平成21年4月24日)の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する足場とし、足場の組立て等の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。</p>	1 中央監視制御装置	2 電源装置	⑧ 給水設備	<p>① 量水器</p> <p>② 配管材料</p> <p>● 継メーター ※ 借用 ● 買取 (※ 直読 ● 遮断表示)</p> <p>● 子メーター ※ 買取 ● 借用 (※ 直読 ● 遮断表示)</p> <p>(ア) 一般配管 ● SGP-VB ● SGP-PB ● SUS304 ● SUS316</p> <p>● H1VP ● 架橋ポリエチレン管</p> <p>(イ) 土間配管 ● SGP-VD ● SGP-PD ● H1VP ● SUS304 ● SUS316</p> <p>(ウ) 屋外埋設配管 ● SGP-VD ● SGP-PD ● H1VP ● SUS304 ● SUS316</p> <p>● 水道配水用ポリエチレン管 (75~100A) ● 水道用ポリエチレン二層管 (50A以下)</p> <p>(エ) 特記なき給水管の最小口径は20Aとする。</p> <p>(オ) ビニル管の接合方法 ※ 接着接合 ● ゴム輪接合 (直管以外の継手には離脱防止金具取得とする。)</p> <p>(カ) ポリエチレン管の接合方法 50A以下 ※ 金属製継手 ● 融着継手 ● 75A以上 ※ 融着継手</p> <p>※ 口径65A以上の仕切弁及び逆止弁は、ライニング弁とする。</p> <p>● 5K (受水槽以降の配管に使用) ● 10K (公営水道に直結する配管に使用)</p> <p>● 公営水道事業者指定の止水栓又は弁 (給水引込部に使用)</p> <p>屋外に設置する水槽のマンホール蓋は保温形 (二重蓋含む) とする。</p>																																									
35 工事安全計画書等	<p>建設工事公衆災害防止対策要綱及び建設工事安全施工技術指針を参考に工事安全計画書を作成し監督職員に提出する。</p>	3 温度調節器等	4 計装工事の配線	15 換気設備	<p>2 冷却水管</p> <p>3 冷水・温水・冷温水管</p> <p>4 膨張・空気抜き・補給水管</p> <p>5 蒸気給気管</p> <p>6 蒸気温水管</p> <p>7 油・油用通気管</p> <p>8 冷媒管</p> <p>9 空調用給水管</p> <p>10 空調用排水管</p> <p>11 弁類</p>																																									
36 室内空気中の化学物質の濃度測定	<p>実施する。</p>	1 中央監視制御装置	2 電源装置	16 換気設備	<p>2 冷却水管</p> <p>3 冷水・温水・冷温水管</p> <p>4 膨張・空気抜き・補給水管</p> <p>5 蒸気給気管</p> <p>6 蒸気温水管</p> <p>7 油・油用通気管</p> <p>8 冷媒管</p> <p>9 空調用給水管</p> <p>10 空調用排水管</p> <p>11 弁類</p>																																									
37 火災保険等	<p>工事的に汚染又は損傷した場合は、既成にならない補修する。</p> <p>既成のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。</p> <p>調査方法 ● 電磁誘導式 ● 放射線透過検査</p>	1 中央監視制御装置	2 電源装置	17 換気設備	<p>2 冷却水管</p> <p>3 冷水・温水・冷温水管</p> <p>4 膨張・空気抜き・補給水管</p> <p>5 蒸気給気管</p> <p>6 蒸気温水管</p> <p>7 油・油用通気管</p> <p>8 冷媒管</p> <p>9 空調用給水管</p> <p>10 空調用排水管</p> <p>11 弁類</p>																																									
38 グリーン購入	<p>グリーン購入は次のものとする。</p> <p>● 空調用機器 (マルチエアコン) ● 衛生器具 ()</p> <p>● 断熱材 () ● 配管材料 (● 再生硬質塩化ビニル管 ●)</p> <p>● その他 ()</p>	3 温度調節器等	4 計装工事の配線	18 換気設備	<p>2 冷却水管</p> <p>3 冷水・温水・冷温水管</p> <p>4 膨張・空気抜き・補給水管</p> <p>5 蒸気給気管</p> <p>6 蒸気温水管</p> <p>7 油・油用通気管</p> <p>8 冷媒管</p> <p>9 空調用給水管</p> <p>10 空調用排水管</p> <p>11 弁類</p>																																									
39 鳥取県公共工事環境配慮指針	<p>対象工事</p>	1 中央監視制御装置	2 電源装置	19 換気設備	<p>2 冷却水管</p> <p>3 冷水・温水・冷温水管</p> <p>4 膨張・空気抜き・補給水管</p> <p>5 蒸気給気管</p> <p>6 蒸気温水管</p> <p>7 油・油用通気管</p> <p>8 冷媒管</p> <p>9 空調用給水管</p> <p>10 空調用排水管</p> <p>11 弁類</p>																																									
40 建築物省エネ法	<p>対象工事</p>	3 温度調節器等	4 計装工事の配線	20 換気設備	<p>2 冷却水管</p> <p>3 冷水・温水・冷温水管</p> <p>4 膨張・空気抜き・補給水管</p> <p>5 蒸気給気管</p> <p>6 蒸気温水管</p> <p>7 油・油用通気管</p> <p>8 冷媒管</p> <p>9 空調用給水管</p> <p>10 空調用排水管</p> <p>11 弁類</p>																																									

換気機器リスト

記号	名称	仕様	参考電気容量		数量	設置場所	備考
			φ	V			
FE-1	排気ファン	形式	有圧換気扇、低騒音形		1	1階倉庫1~4	
		風量	φ250×630m3/h×20Pa				
		付属品	バックガード、不燃枠、SUS製給排気形ウエザークバー（防虫網付・指定色塗装品）共				
FE-2	排気ファン	形式	有圧換気扇、低騒音形		2	1階書庫	
		風量	φ300×950m3/h×20Pa				
		付属品	バックガード、不燃枠、SUS製給排気形ウエザークバー（防虫網付・指定色塗装品）共				
FE-3	排気ファン	形式	有圧換気扇、低騒音形		3	2階倉庫	
		風量	φ300×1,020m3/h×20Pa				
		付属品	バックガード、不燃枠、SUS製給排気形ウエザークバー（防虫網付・指定色塗装品）共				

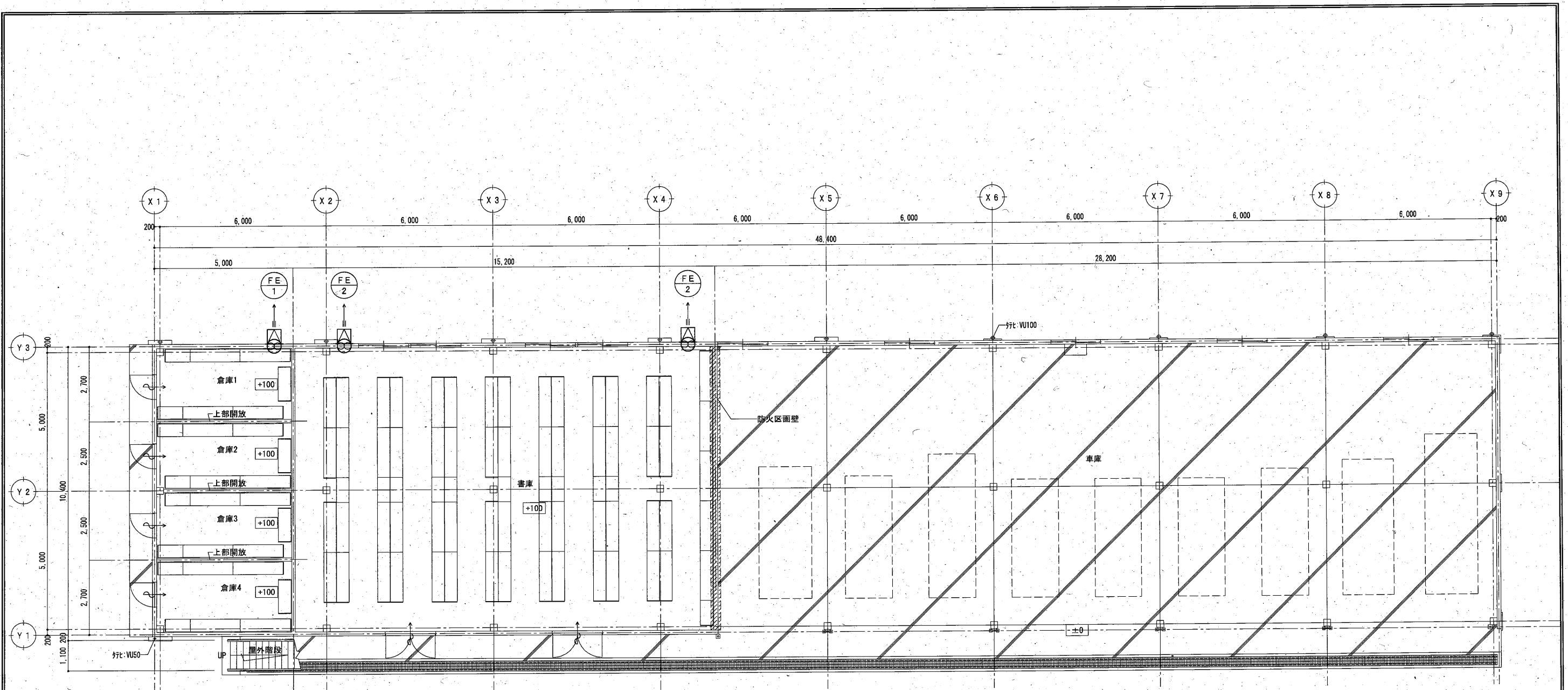
雨水樹リスト

記号	名称	仕様及び参考寸法	計画地盤高 (設計0基準)	計画管底高 (設計0基準)	設計樹高さ (計画地盤基準)	蓋	備考
①	雨水樹	350φ ポリプロピレン製	0	397	397	レジコン蓋	
②	"	350φ "	0	437	437	"	
③	"	350φ "	0	477	477	"	
④	"	400φ "	0	517	517	"	
⑤	"	400φ "	55	555	610	防護蓋 (T-8)	
⑥	"	400φ "	-100	577	477	"	

※リストに記入の樹深さは参考寸法とする。
 ※高さ調整はアジャスターにて行う。
 ※雨水樹の泥溜めは150H以上とする。
 ※①~⑥までの勾配は1/300以上とする。

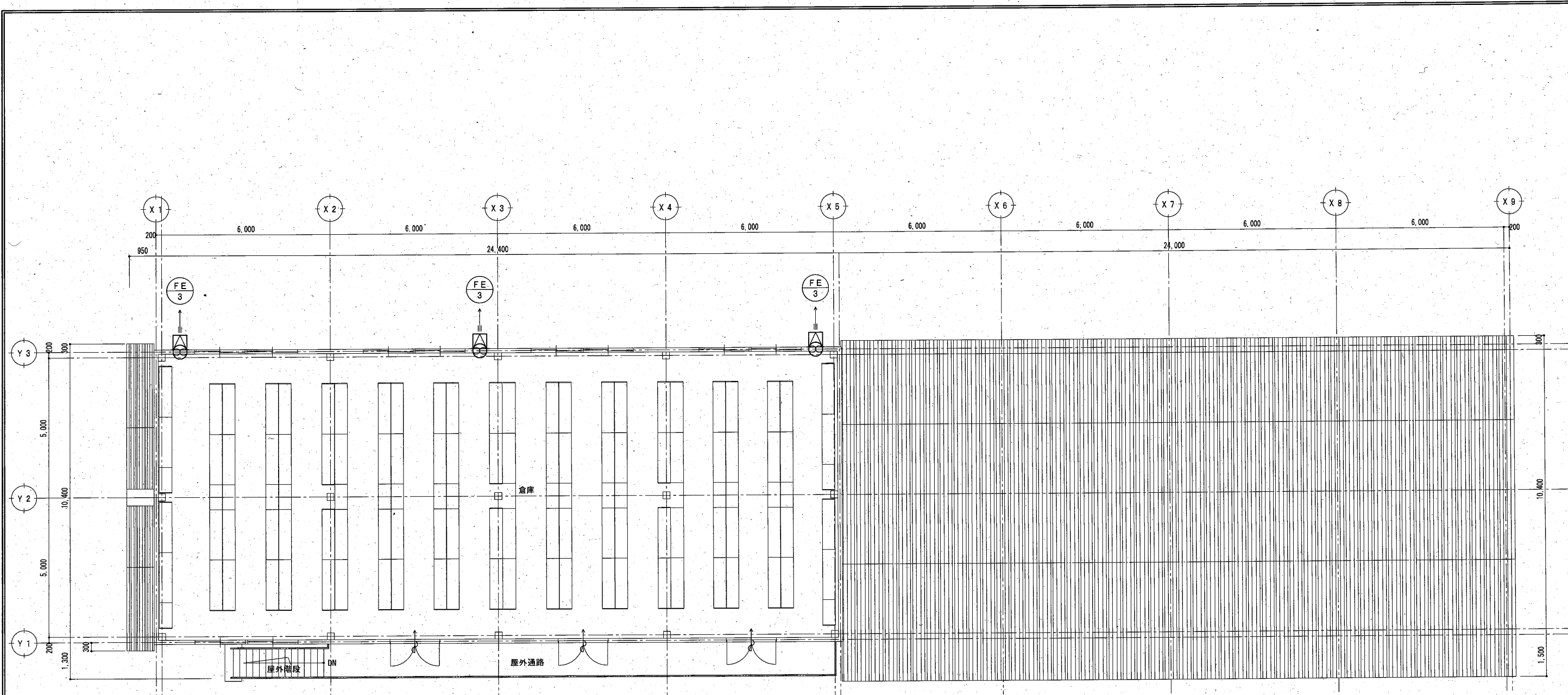
凡例

記号	名称	摘要
---	給水管	水道用ポリエチレン二層管
---	排水管	硬質ポリ塩化ビニル管
HP	排水管	コンクリート管



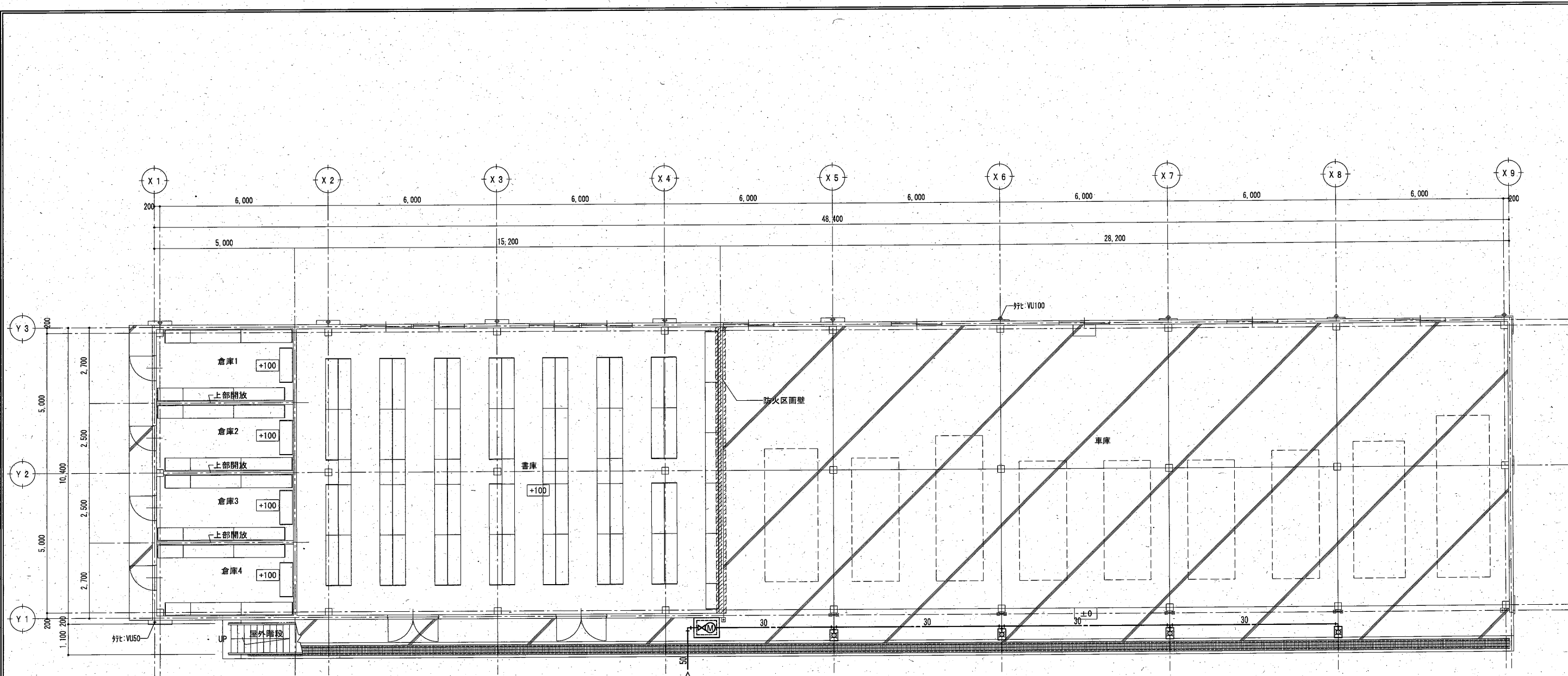
換気設備 1階平面図 S = 1/100

TITLE	中部総合事務所車庫棟改築工事	DR. NO.
DR. NAME	換気設備 1階平面図	M-04



換気設備 2階平面図 S = 1/100

TITLE	中部総合事務所車庫棟改築工事	DR. NO.
DR. NAME	換気設備 2階平面図	M-05

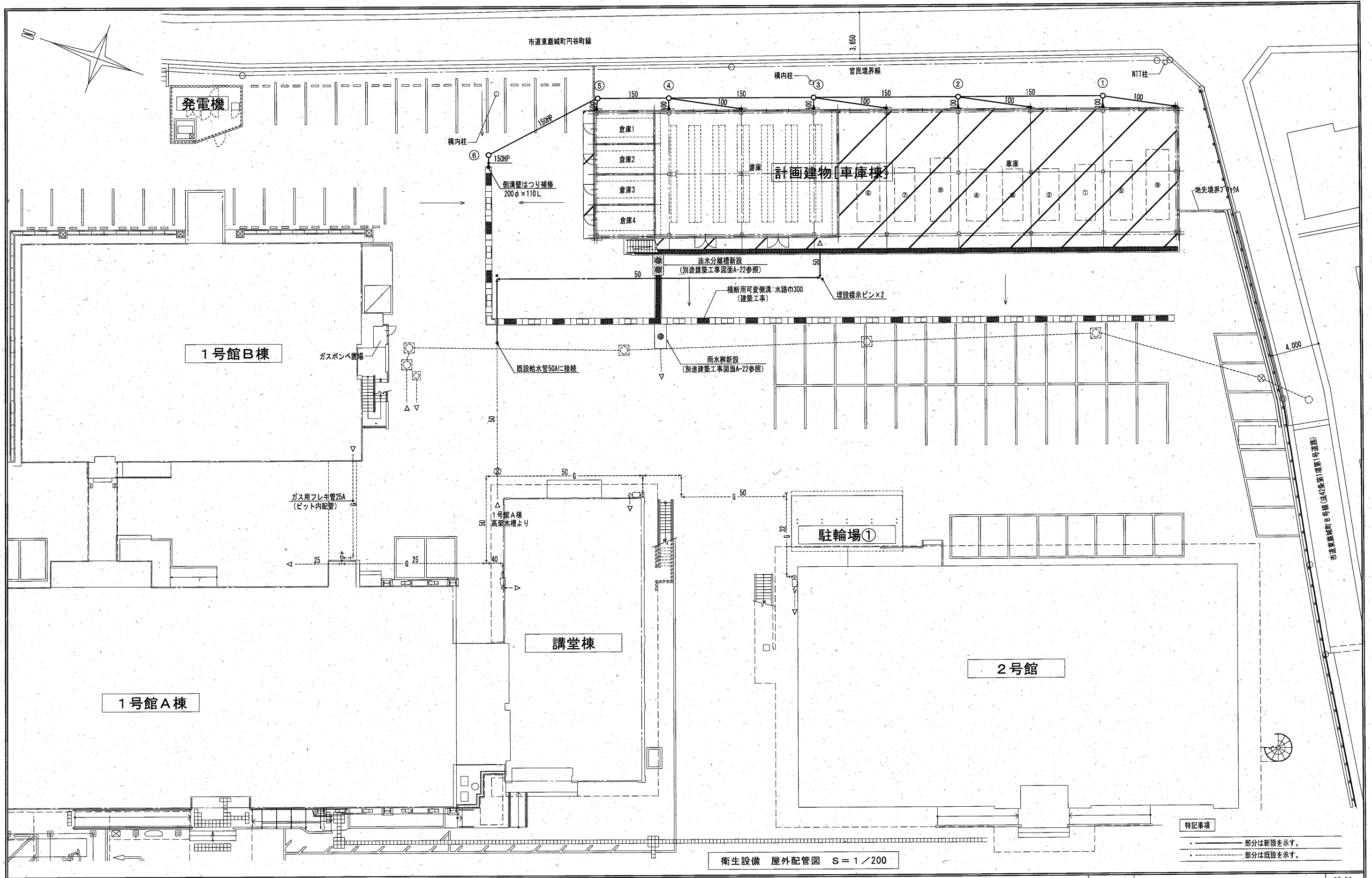


量水器 32A	1
GV32A (5K)	1
量水器ボックス	1
MC-1 (MB-1)	1

散水栓	4
T28UNH13	4
散水栓ボックス	4
B-3B	4

衛生設備 1階平面図 S=1/100

TITLE	中部総合事務所車庫棟改築工事	DR. NO.
DR. NAME	衛生設備 1階平面図	M-06



TITLE	中部総合事務所車庫棟改築工事	DR. NO.	
DR. NAME	衛生設備 屋外配管図		M-07